

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2007	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
創刊100周年を迎える総合医学雑誌としての国際情報発信力強化		東北ジャーナル刊行会	会長・八重樫 伸生
学術刊行物の名称			(略称)
THE TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE			TJEM

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>骨太の編集方針のもと、一定の存在感を示してきた雑誌の国際競争力を、創刊100周年を機に更に高めようという意欲的な試みであり、①編集体制の強化、②創刊100周年記念総説シリーズの掲載、③著者支援事業、④プロモーション活動の強化といった計画を着実に実行している。これにより、インパクトファクター(IF)については、最終年度に2.0という団体が掲げた目標を達成できると期待されるが、アイゲンファクタースコア(Eigenfactor Score)を30位以内にという目標の達成には、より一層の努力が必要と思われる。</p> <p>また、本年度の投稿数の増加は新型コロナウイルス感染症の影響等による部分があり、今後も堅調に推移するかは予断を許さない。総説テーマや著者支援対象の選択をより戦略的に行うなど、目標達成に向け、より一層の努力が望まれる。</p>	